



【2拠点の成果】

1. 子育て支援施設「おやこの広場びーのびーの（菊名ひろば）」（横浜市子ども青少年局委託事業 親と子のつどいの広場事業）
 - ① ひろばが「もうひとつの家」として親子に居心地のよい場であり、個々の親子のリズムで過ごせる場になる様心がけた。
 - ② スタッフは利用する親子に寄り添いコミュニケーションを大切に、子どもたちがありのまま育っていけるようにサポートすることを心がけた。
 - ③ 地域担当を設けて地域との交流を積極的におこないサロンや赤ちゃん会に参加し、町内会や民生委員の方々とのつながりを築いた。
 - ④ ひろばの一時預かりが必要とされる中、スタッフを3人体制に整えたことで当日の緊急預かりを受けることができ、より細やかな預かりを行うことができた。またそれぞれの親子の状況に寄り添った預かり時間を提供できるように努めた。
2. 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ （港北区地域子育て支援拠点委託事業）
 - ①親子の居場所：多様な親子のニーズが増える中、同じニーズ、共通課題を持つ親同士のつながりを作るためのプログラムを構築し、親同士が支え合える場としてコーディネートを実施。利用者が得意分野を活かし、居場所の環境作りから参画できる場所を提供し、共に築く場であることを投げ掛けてきた。
 - ②情報収集・提供：地域訪問では拠点がもつ情報を持参し、来所が困難な方も含め必要な情報が入手できるよう配慮。イベントではスタッフが外向くと同時にパネル展示も行い、拠点の周知に努めた。ココメールの周知を始め、子育て支援従事者からの情報入手も積極的に行い、双方が情報交換できる仕組みを構築。
 - ③ネットワーク：新たなネットワークの形を構築し、各ひろばとの情報共有に努めた。スタッフ交流と研修を実施。
 - ④子育て相談：状況に応じ個別相談につなぎ、その後のフォローは、相談スタッフとの連携の中で進めている。ニーズの高さから、乳児を持つ家庭へのプログラムを実施。また、被災者の方のためのサロンも開催。
 - ⑤人材育成：子育て家庭からのボランティア登録も増え、親子ボランティアによるプログラムも企画・実施。一般ボランティアも増え、その曜日の顔となっている。ボランティア・保育スタッフ・子育てサポートシステム会員の連動もある。
 - ⑥子育てサポートシステム：24年度、港北区サポートシステム会員数は1301名。全市内の14%を港北区が占めた。毎月平均約520件の援助件数。月1回の入会説明会は毎回、前月時点で定員に達し、個別説明会もほぼ毎日のように行い、出張説明会も年間通して合計6回実施。会員相互の交流会(年2回開催)、アンケート(1回)実施、広報誌の発行(年3回)。事前打合せ同席、特別な配慮を要する援助活動、ひろば預かり、おためし保育など援助会員に対するサポートもひろばスタッフや相談員との連携を深め充実するよう取り組んだ。

【6事業の成果】

1. グループ保育「ゆーのびーの」

12名が登録。週1回の保育だが1年間の関係性で子どもたちは逞しく成長した。同時に親支援、子どもの就園支援等も行ったことで、親同士の仲も深まり、良い関係性が築けていることを感じた。
2. 出版・制作・企画事業
 - ①びーのびーの幼稚園・保育園ガイド」の発行事業(年1回)2013年度入園版発行(5月31日)。2500部/202ページ/830円 掲載園：港北区全域、鶴見区・神奈川区・都筑区・緑区・川崎市一部の幼稚園・保育園(全135園) 防災の意識の高まりを受けて園情報に「防災・防犯対策について」を新設。特集に「震災時に学んだ、家庭・園・地域とのつながり」を掲載。
 - ②制作：パンフレット、HP、チラシ、名刺、屋外看板デザイン作成。(たんぼぼ保育園、協働の新たなステージへの環境創出事業協議体、NPO法人ナルク東横浜、横浜市幼稚園協会都筑支部)
 - ③その他：法人ロゴタイプ・マーク制作・HPリニューアル。預かり保育まんまーるロゴタイプ・マーク制作。横浜市幼稚園協会都筑支部イベント事務局。
3. インターネット事業
 - ①港北区子育て応援マップココマップ(ウェブサイトの編集・制作・運営) 港北区社会福祉協議会委託事業/0歳~6歳までの子どもの子育て情報に特化した子育て応援サイト。イベントなど地域の情報を提供。登録編集委員：26名、編集会議/月1回。更新/トップ24回、イベント・クチコミ情報48回、特集ページ、季節情報など6回。
 - ②トレッサ横浜HP内「とれおんパーク」ブログ記事制作 トレッサ横浜委託事業 掲載内容事前打合せ(月1回トレッサ横浜)。ブログ以外の連携：イベントの協力、グループインタビュー参加など。更新記事：計165本。
4. 事務請負・コンサルティング事業
 - ①子育てタクシー：サンタクシー株式会社による「子育てタクシーサービス」と提携。連絡会開催、各種研修等の連携、意見交換、イベント・朝礼への参加。子育てタクシーかわら版編集。
 - ②子どもと保育総合研究所事務局：子どもと保育総合研究所の事務局としての機能(会員管理、各種事務手続き、ブログ管理、セミナー開催のお手伝いなど)。夏季全国大会(8月17日、18日)、冬季セミナー(1月13日、14日)、ニューズレター2回発行、研究報告書1冊発行。
5. わくわく子育てサポーター事業：学生ボランティアによる乳幼児家庭への育児支援事業。

2012年度は事前研修会の開催、活動終了後の家庭・学生交流会の開催、参加学生への連絡を含めインターンが参画。研修会での配布資料なども網羅した報告書を作成。述べ実績66回・参加学生38人・参加家庭20世帯。
6. 菊名WARA・びー実行委員会

8月8日(水)、「港北区地域の子カラ応援事業」として行われた「大豆戸菊名打ち水大作戦」に実行委員として参加。子どもたちは地域の方々や打ち水、太鼓を楽しみ、境内ですいかを食べ日本の夏を満喫。

【その他】

- ①びーのびーの通信の発行
- ②絵本の会
- ③法人独自インターンシップ受け入れ
- ④「ひろば」人事業
- ⑤保育事業の準備
- ⑥事務局移転

◆2013年度収支計算書(2012.4.1~2013.3.31) 単位(円)

経常収益の部

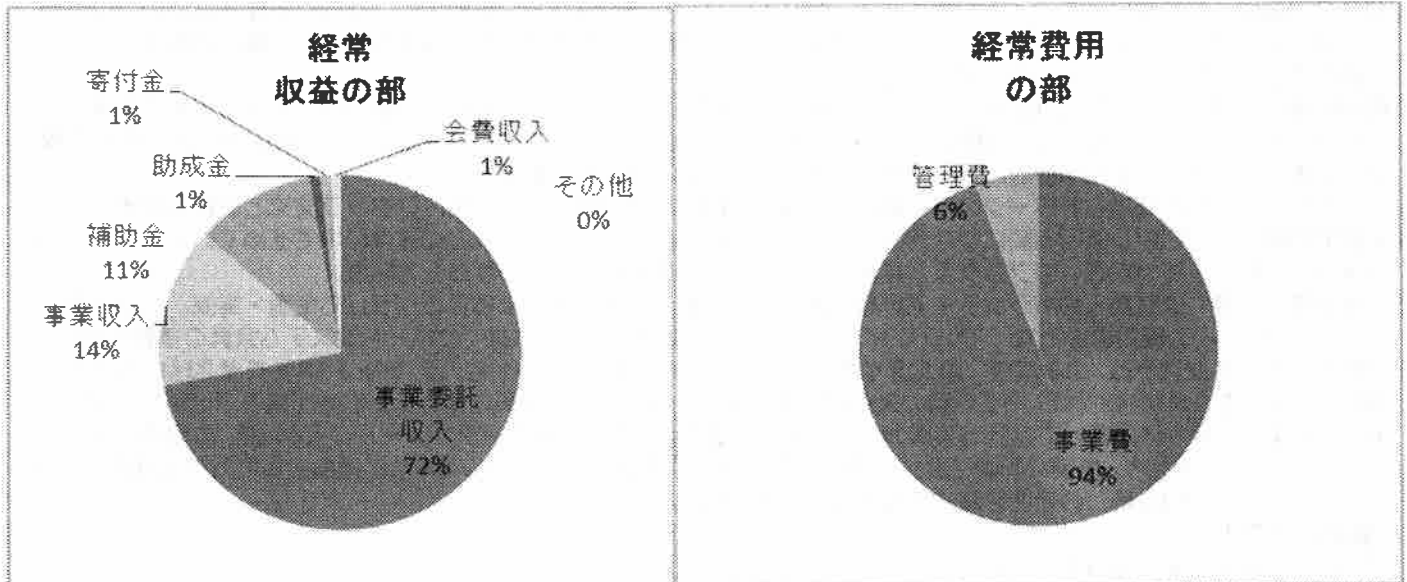
会費収入	509,000
寄付金	678,640
助成金	700,000
補助金	7,152,155
事業委託収入	48,212,624
事業収入	9,730,127
その他	2,933

経常収益計 66,985,479

経常費用の部

事業費	63,143,712
管理費	3,761,778
経常費用計	66,905,490

当期経常増減額 79,989



◆2012年度 ボランティア活動実績

活動場所		活動時間	延人数
びーのびーの	一般・親子ボランティア	812 時間	252 人
	学生ボランティア	553 時間	139 人
どろっぷ	一般・親子ボランティア	2,076 時間	856 人
	学生ボランティア	449 時間	125 人
総計		3,890 時間	1,372 人

【年間総計】

- 一般・親子ボランティア
2,888 時間 延べ 1,108 人
- 学生ボランティア
1,002 時間 延べ 264 人

◆あたたかいご支援ありがとうございました

会費のほかに協力金を頂いた方々(敬称略)(びーのびーのスタッフ・ボランティアを除く)

《2012年度》(2012年6月以降)

池本直美・古田直文・山口素夫
(五十音順)

《2013年度》(2013年5月末現在)

伊藤絵里・緒方かや子・川島敏子・川中香奈江・久保田章・
高坂千晶・関澤有香・関谷容枝・田島昌子・真壁佳緒里・
吉竹雅子・米本正明・和田美和(五十音順)

2012年度寄付を頂いた方々(敬称略)(びーのびーのスタッフ・ボランティアを除く)

北後真智子・西島康子 (五十音順)

※びーのびーのバザー&フリーマーケット等へ参加くださった皆様へも心より御礼申し上げます。